

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

No.5 平成29年11月15日

発行：秋田県立聴覚支援学校内 きこえとことば支援センター

～冬の補聴器・人工内耳の取り扱い～

○結露に注意！

夏は汗などの水分が、補聴器故障の原因となりますが、冬場「あれ？きこえない」と思ったら結露が原因かもしれません。補聴器は、低温には比較的強いのですが暖かいところに戻すと気温差によって結露が生じることがあります。チューブ等に少しでも水滴があると音が出なくなります。★イヤモールドやフック、チューブ等の水滴は、こよりなどで取りましょう。寒い屋外から暖かい部屋に戻った時などは、乾燥ケースの中でゆっくり室温に戻してください。

○熱に注意！

補聴器は、熱に弱い機器です。ストーブの側に置かないようにしましょう。

○電池の減りに注意！

冬、乾燥していると空気電池の減りが早くなります。

★電池の残量チェックはこまめに行い、使用期限にも注意しましょう。

(乾燥ケースに入れる時は、電池を外して、補聴器だけ入れましょう。)

★急激に電圧が下がる場合があるので予備の電池は、いつも持ち歩きましょう。

○静電気に注意！

冬は空気が乾燥して静電気が起きやすい季節です。静電気によって、まれに人工内耳のマップが壊れることがあります。

★静電気の起きやすい場面や衣服(フリース等)に注意しましょう。静電気を逃がす、静電気除去ブレスレットの使用等、静電気防止を心がけましょう。



ろう教育Q&A



伝え合う工夫



「難聴学級に在籍しているお子さんが、交流学級で過ごしていくためには、どうしたらいいだろう。」そのような悩みをもつ難聴学級の先生は、少なくないはずです。その第一歩が、互いに歩み寄り「伝え合う」ことなのではないでしょうか。

難聴学級のお子さんと交流学級等の子ども達が共に過ごすためには、お互いのことを知ることが大切です。『伝え合う』ためには、お互いに歩み寄ることが必要であり、決して一方通行ではありません。

交流学級の子ども達には、どのように話しかけたら分かりやすいのか、また、どのような場所がききとりにくく、そこではどのようにしたらよいのか等について知る機会が必要です。

難聴学級のお子さんは、自分の障害や特徴がどのようなものか、まず、自身で正しく知り、理解する必要があります。そして、それを相手に分かるように自分で伝えられれば理想的です。

しかし、実際には「自分のことをうまく伝えられない」「あまり伝えたくない」という本人の想いや、「こんなことを聞くのは失礼なのかな?」「実際にどうしたらいいのかわからない」という周りの想いが錯綜して、簡単ではない部分もあります。

そのような時に、難聴学級の先生等、周りの大人はどのように関わればいいのでしょうか。それはケースによって様々です。私たちは、どのような細かいことでも一緒に考えていければと思っております。どうぞ、聴覚支援学校にいつでもご相談ください。

全日本聾教育研究大会秋田大会を終えて

10月19日(木)、20日(金)に秋田県立聴覚支援学校及び秋田キャッスルホテルを会場とし、全日本聾教育研究大会秋田大会が開催されました。全国から、聴覚障害教育に携わる方々に多数お集まりいただき、総勢425名での研究大会となりました。本県の難聴学級の先生方も多数ご参加くださいました。ありがとうございました。

ここでは、授業研究分科会での指導助言の先生方のお話を一部抜粋し、お伝えいたします。



授業研究分科会…小学部
東北福祉大学教授
大西孝志先生をお迎えして

授業研究分科会より

(小学部授業研究分科会)東北福祉大学教授 大西孝志先生

子どもが「学校が楽しい」「勉強が楽しい」と感じることは、分かる授業が提供されていること＝合理的配慮がなされていることだと考える。去年までしっかり教えてもらってない、保護者が非協力的、校内の協力体制がない、自分の指導力が足りないなどは禁句。そういった現実を踏まえて、今自分ができる最大限のことをやっていくことが、分かる授業づくり＝合理的配慮になると思う。

(中学部授業研究分科会)筑波技術大学教授 長南浩人先生

教師が発問し、学習者の想定外の回答があった時、教師は「え、なにこの回答。でも、発言を否定したくないな。」と考えて、「そうだね、よく考えたね。」という発言が出てしまう。しかし、これはクエスチョン・アンド・アンサーがずれている言い方。こうすると思考力が伸びない。「何を訊かれているか。だから、こう答える。」という頭の使い方が思考力を伸ばしていく。クエスチョン・アンド・アンサーを成立させようという意図をもって、教室内のコミュニケーションをとることがとても重要だ。

INFORMATION

学習発表会のご案内

11月23日(木)〈勤労感謝の日〉に本校で学習発表会が行われます。午前中は、幼稚部から高等部までのステージ発表、午後からは中学部と高等部生徒による生徒会活動(おぼけ屋敷や模擬店など)が予定されています。お誘い合わせのうえ、ご来校ください。本校の支援部職員がご案内いたします。

なお、受付開始は9:00からとなっておりますので、お越しの際には、正面玄関での受付をお願いいたします。当日は補聴器や周辺機器の展示も予定しております。騒がしい教室や、遠くで話す先生の声は、補聴器では聞き取りにくいのが現状です。その聞こえを解消する方法の一つとして最近注目を集めているのが、補聴援助システム「ロジャー」です。ぜひこの機会に、お手に取ってお試してください。



補聴機器及び周辺機器の展示

補聴器メーカーさんも参加
この機会にぜひご相談ください

難聴に関すること、補聴器に関すること、毎日の授業についてお気軽にご相談ください。

きこえとことば支援センター(秋田県立聴覚支援学校内)

〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3-127

TEL: 018-889-8572 FAX: 018-889-8575

